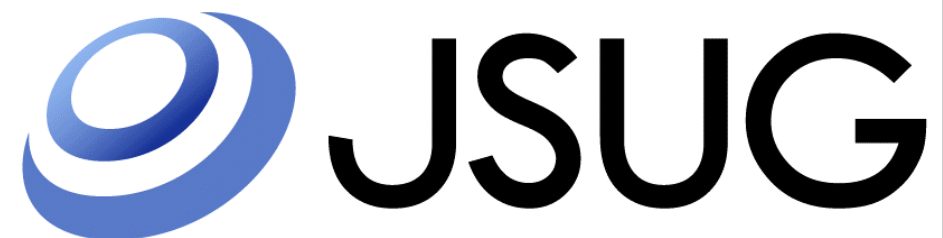


# ジャパンSAPユーザーグループ 入会案内(活動編)



ジャパンSAPユーザーグループ / Japan SAP Users' Group

2011年度ver.1(2011年4月作成)  
2011年度ver.2(2011年6月更新)



# 1. JSUGの活動目的



**日本のSAPユーザー企業、SAPパートナー企業、SAP社が一丸となって活動に取り組むことにより、SAPユーザー企業の価値最大化を目的としています。**  
(ジャパンSAPユーザーグループ 会則より)

ジャパンSAPユーザーグループ(JSUG)は、SAPユーザーが自ら運営するコミュニティです。

上記の活動目的を達成するために以下の活動を行っています。

- ・エデュケーション(SAPソリューションに関する最新情報の共有と研鑽)
- ・ネットワーキング(会員相互の親睦と交流)
- ・インフルエンス(SAP社の戦略や製品への影響)

事業環境の変化が激しい現在、SAPソリューションに関してのユーザー同士の積極的な情報交換やSAPソリューションに対する多様なユーザーニーズを反映させる活動を通じて、投資対効果を高めることは経営からの要請でもあります。JSUGは日本におけるSAPユーザーの代表であり、SUGEN(SAP User Group Executive Network)の一員として、海外14カ国のユーザー会と共同で、ユーザーの声を代表し、SAP本社やSAPジャパン株式会社と、議論もできる、長期的で健全な関係を構築しております。

またJSUG内で更なるユーザー間の研鑽の機会を提供するとともに、海外のユーザー会やユーザーコミュニティとの情報交換を通じて、ユーザー各社のみならず、各業界や産業全体に貢献しています。

現在では、451社(2010年12月末時点)が加盟するまでの組織となりました。以下のようなコミュニティを設け、それぞれでそれぞれの部会・フォーラムといった活動が日々行われています。

- ・インダストリーコミュニティ(産業別の活動)
- ・リージョナルコミュニティ(地域別の活動)
- ・ビジネスプロセスコミュニティ(SAPソリューションの機能やトピックに対する活動)
- ・テクニカルコミュニティ(技術的テーマに対する活動)

SAPソリューションに関わっている方、SAPソリューションに興味のある方、ぜひJSUGのドアをたたいてください。一緒に活動しましょう。

## 2. 入会メリット



**ユーザーが一番参考にする情報はユーザー自身が持っています。  
情報収集はユーザーが一丸となって行った方が効率的です。  
研究・検証は皆が協力すれば、納得性の高い結果を得られます。  
SAP社への開発要望窓口をユーザー会は有しています。**

JSUGはSAPユーザー企業にとって、最も効率的な情報収集・学習の場です。更には主体性を持つことによって、より多くの情報や知見を獲得することができる場でもあると考えています。JSUGに入会することによりユーザー企業の従業員は何名様でもJSUGが提供している各種活動や情報にアクセスすることが可能となります。

- JSUGが主催するイベント、部会、各種検証活動への参加
- JSUGに提供されているSAP社の各種プログラムへの参加
- JSUGが蓄積している各種ユーザー事例、検証結果(1,000件強)の閲覧
- JSUGが行った活動、情報収集結果の案内受信

### 3. 各種プログラム概要



#### *Influence*

- SUGENへの参加によるSAP AG, SAPジャパンとの情報交換、各種要望活動
- Walldorf Exchange, Palo Alto Exchange等SAP AGとの直接対話
- 各種アンケートによるユーザーボイスの収集、SAP社へのフィードバック

*User*



#### *Network*

- 部会・フォーラム等の各種会合実施
- イベントの実施
- SUGEN等への参加によるGlobalな相互交流

#### *Education*

- 各種会合
- アカデミー賞
- 事例DB
- 各種情報発信
- 各種アンケートプログラム

*Partner*

*SAP*

# 原点回帰

# Back to the Basics

## 4.2011年度のJSUG活動のテーマ(1)

『原点回帰』 -SAPの採用を決めたときに目指したことはできていたのか？-



### 1. ERPの活用度向上

- 現在のSAP環境にすでにある機能(権利)を使い倒す、使い切る
- 適用するビジネスプロセス、機能を広げ、「本来の」ERPとして使えるようになる

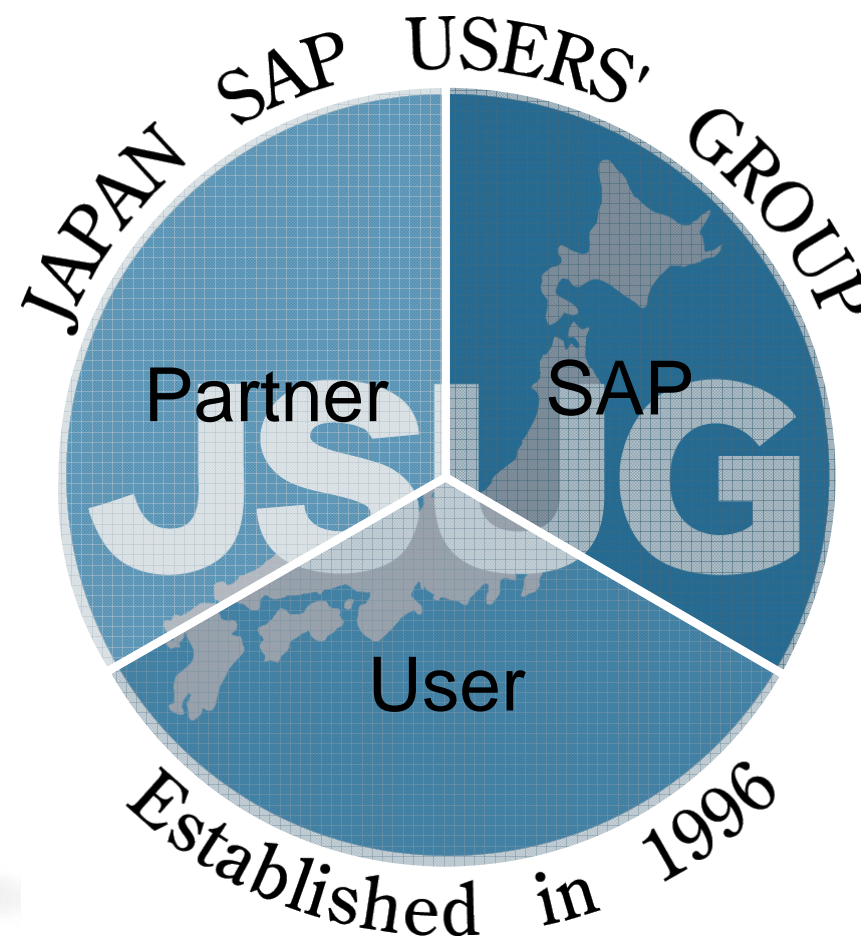
### 2. ライフサイクル視点でのSAPの最適化

- 「パッケージらしい」運用・改善の在り方を賛助会員と研究 ⇒チーム日本
- アップグレードの推進:最新機能を使い損ねていないか、使いそびれていないか？

### 3. ビジネス価値の実現

- グローバル競争に負けない仕組み作り
- 情報活用の高度化:モバイル端末やインメモリ製品の活用で仕事の在り方は？
- IT部門からイノベーションを起こす

## 4.2011年度のJSUG活動のテーマ(2) 『チーム日本』



**SAPで繋がる日本企業が一体となり、SUGEN, SAP AGへ日本の声を届け、  
SAPで繋がるグローバル社会での影響力を行使していく**

## 4.2011年度のJSUG活動のテーマ(2) 『チーム日本』 -Solution Manager研究WGによる検証プロジェクト



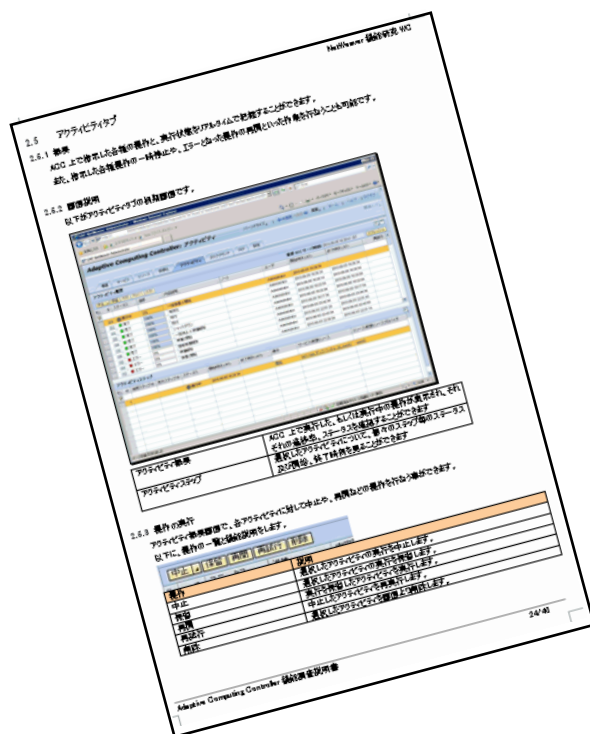
2009年よりテクニカル部会Solution Manager研究WGでは、ユーザー・パートナー・SAPが一体となり、SAP Solution Managerの新機能について検証し、検証結果を会員・SAPへフィードバックしています。



## 4.2011年度のJSUG活動のテーマ(2) 『チーム日本』-NetWeaver機能研究WGによる機能検証



テクニカル部会Netweaver機能研究WGでは、JSUGプラチナスポンサー富士通様より検証環境をご提供いただき、「ACC(Adaptive Computing Controller)の機能検証(Ramp-up参加)」を行い、JSUGアカデミー賞審査員特別賞を受賞しました。また、JSUG発の機能調査説明書が作成されました。



JSUG発、Adaptive Computing Controller  
機能調査説明書

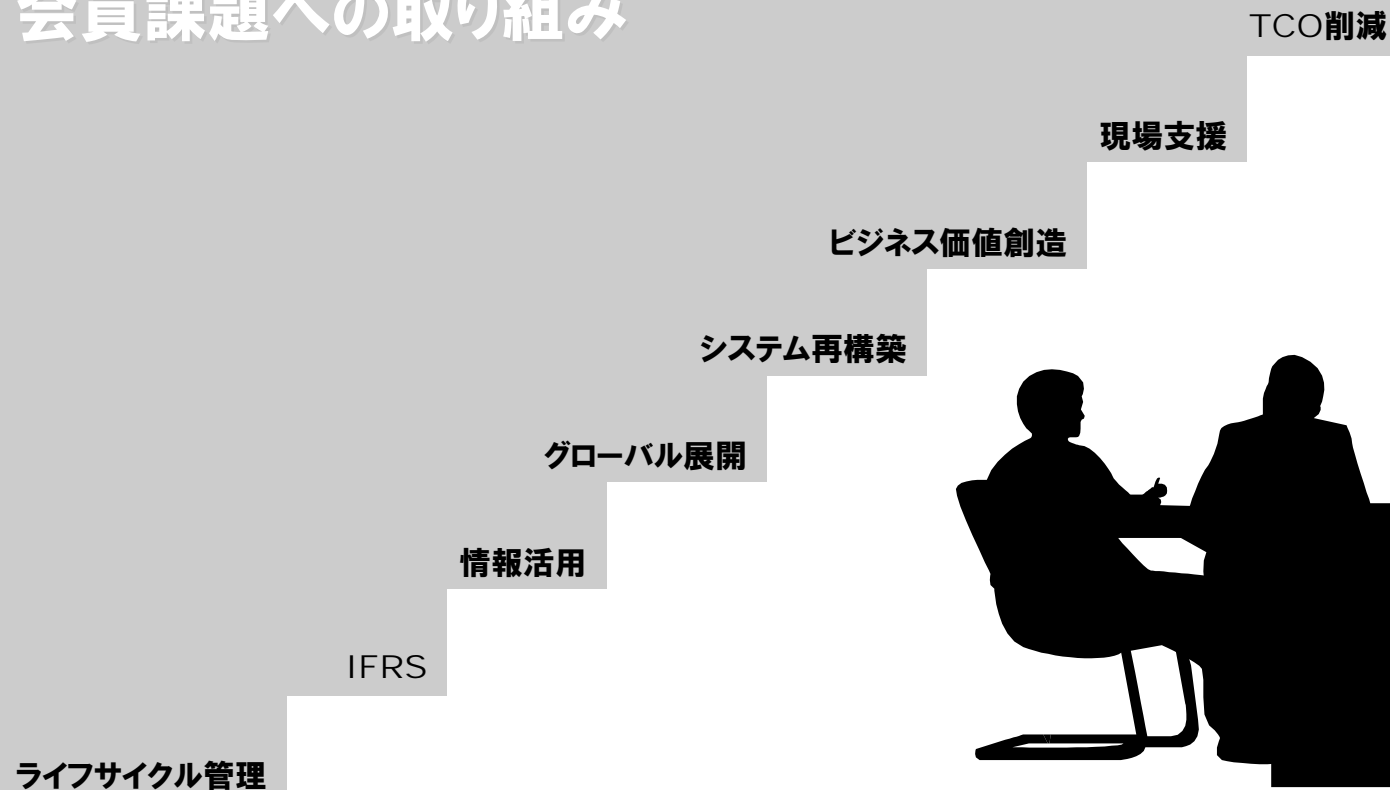
JSUGアカデミー賞審査員特別賞を受賞

## 4.2011年度のJSUG活動のテーマ(2) 『チーム日本』-ユーザー・パートナー間の定期的な意見交換



常任理事会を主体として賛助会員(パートナー企業)と定期的な意見交換を実施し、JSUGがどのような活動を行っていけば、会員企業の企業価値向上に繋がるか、ということを検討しています。

### 会員課題への取り組み



## 5.SAPグローバル製品開発プロセスへの参加機会



SUGENとSAP AGは、SAP社の製品開発プロセスにユーザーグループが参画する機会を提供していくことに合意し、世界各国のユーザーグループが製品開発プロセスに公平に参画できるようになりました。グローバルに日本の要件を直接フィードバックできる、非常に有効的な機会を是非ご活用ください。

### Improvement

--Continuous Improvement

一般出荷後の製品への小規模な継続的改善をご提供します。SAP社より透明性の高いプロセスが用意されます。(2011年度中提供予定)

### Innovation

-Customer Engagement Initiative

SAP社が計画している製品開発のサイクルに参加して自社ひいては日本の意見を発信する機会を提供されるプログラムです。2010年よりJSUGも参加しており、既に数社のユーザー、パートナーが参画しています。

### Vision

-SAP Roadmaps

現在のソリューション概要、計画された開発内容、将来の方向性等を学べるオンラインセッションに参加できます。

## 5. SAPグローバル製品開発プロセスへの参加機会

【参考資料】 Connecting SAP Customers and SAP Product Development



### Three Channels for Customer Influence

#### Improvement

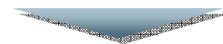
TODAY'S  
SOLUTION



Small  
Enhancements

#### Innovation

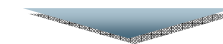
PLANNED  
SOLUTION



Next products  
and solutions

#### Vision

FUTURE  
DIRECTIONS



Strategic  
Concepts

Source: QGP, TIP, GCC, GC

# 5. SAPグローバル製品開発プロセスへの参加機会

## Customer Engagement Initiative



- SAP AG開発部門と世界各国のユーザ会が直接協働開発する、**全く新しい国際規模の協働開発プログラム**
  - ユーザ会のみ対象のプログラム
  - いくつかのトピックが既にERP6.0 EhP5でリリース済み
  - プログラムは2009から開始。JSUGは2010年より参加開始
  - Business Suite, On-demand, 業種別ソリューション、モバイル系等最新技術含め平均30以上のシナリオで募集。新製品情報早期取得し、かつ日本のユーザ、パートナーの経験をフィードバック可。
  - 2011年は3回実施予定。(第1回目は3月に開始)



# 6.15年間蓄積されてきたユーザー事例にアクセス 『JSUG宝の山-FactDB』



JSUG宝の山-FactDB  
こちらからJSUGの事例を検索いただけます

検索結果一覧

検索結果一覧 1053件中1~10件を表示

- SAPの製品戦略 Run better with SAP
 

登録社名・部会名	食品部会
概要	2010年12月15日 JSUG 2nd FOCUS 食品部会で講演されました。
- 自動車部品製造業向けSAPの提案・導入事例のご紹介
 

登録社名・部会名	自動車部会
概要	2010年12月15日 JSUG 2nd FOCUS 自動車部会で講演されました。
- グローバル統合システム表現事例と展開手法への考察
 

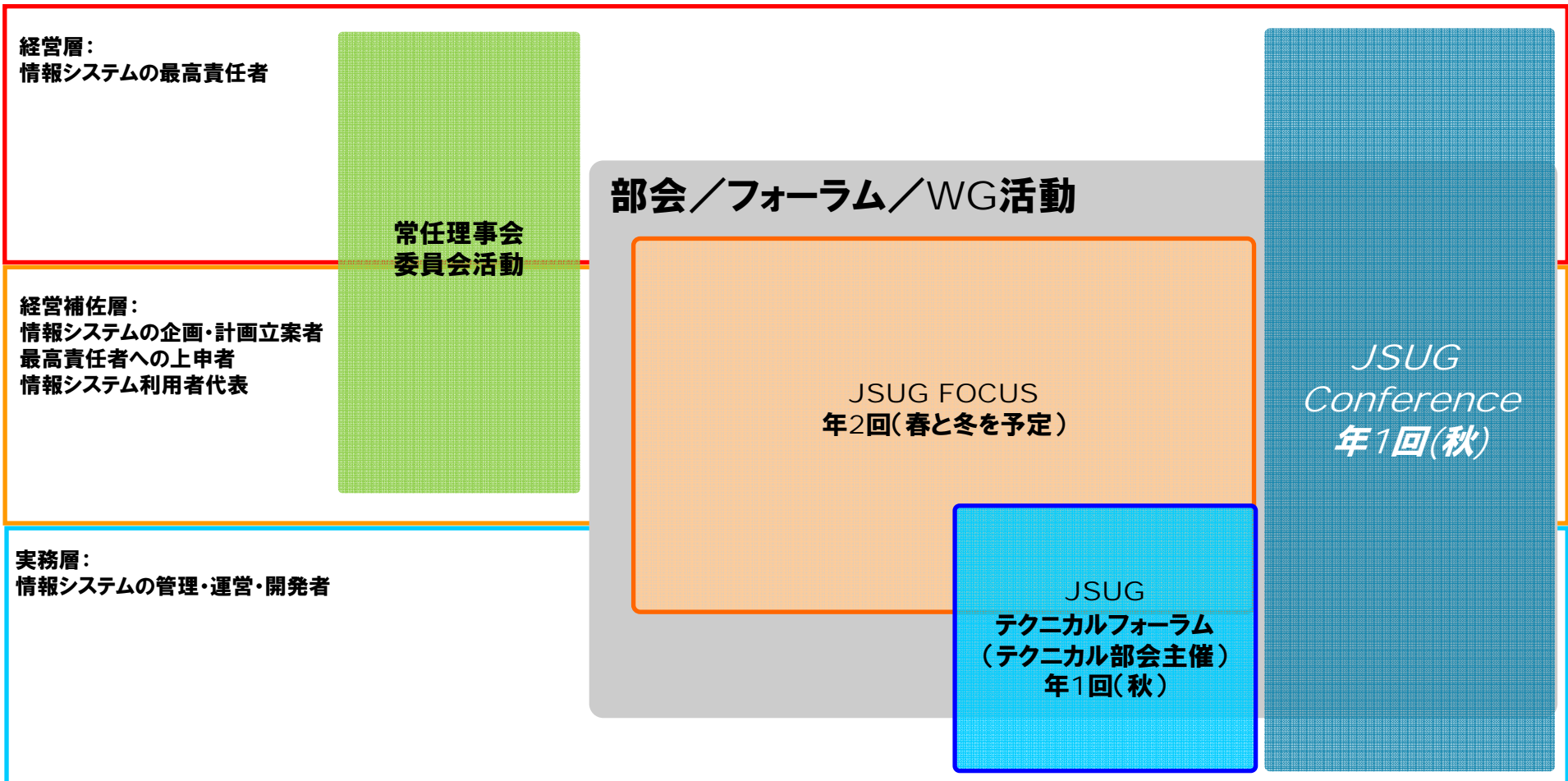
登録社名・部会名	Global Implementation部会
概要	2010年12月15日 JSUG 2nd FOCUS Global Implementation部会で講演されました。
- SAP BusinessObjects Business Intelligence 4.0新機能概要

**現在の登録数: 1,058件** (※2011年4月5日現在)  
**2010年ダウンロード数: 17,201件**

# 7. JSUGが主催する各種会合

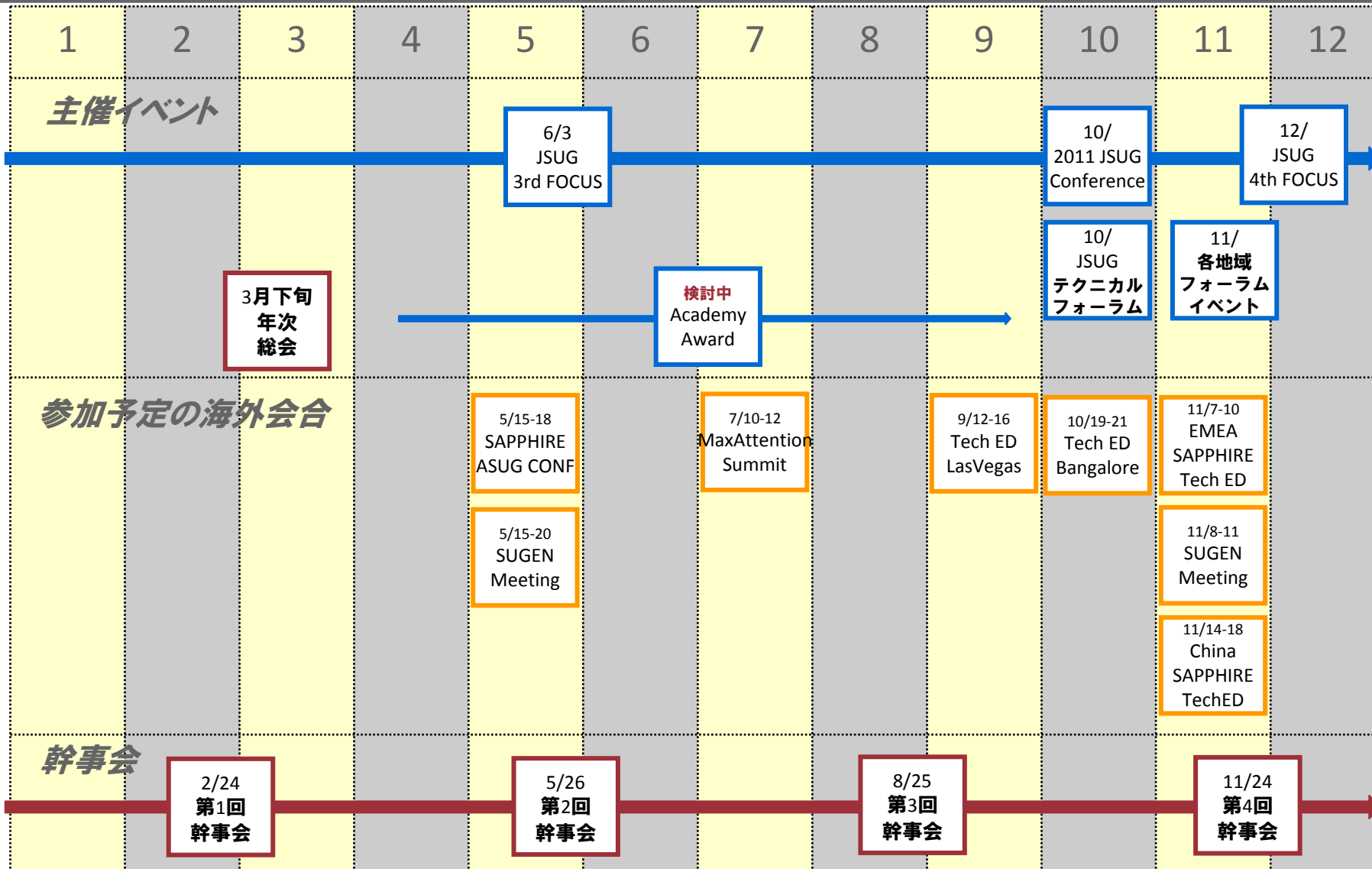


**部会／フォーラム／WG活動を中心に活動し、主催イベントも開催  
各活動体からも常任理事会委員会活動に参加**



# 7.JSUGが主催する各種会合

## 2011年度スケジュール



# 7.JSUGが主催する各種会合 2010年度開催実績



イベント	Leaders Exchange	業種別部会	機能別部会	テクニカル部会	地域フォーラム	合計
3回	8回	23回	24回	19回	5回	82回
1,409名	160名	375名	433名	396名	174名	2,947名

(※人数は述べ人数)

## 12. 入会のご案内



ご入会をご検討されている方は以下の内容をご確認ください。

### ■ JSUG会員資格

#### ■ 法人会員

- SAPシステムを使用している又は使用が見込まれる法人

#### ■ 賛助会員

- 本会の目的に賛同した法人で、SAPによって承認されたビジネスパートナー

#### ■ 個人会員

- 本会の目的に賛同した個人

### ■ 年会費

#### ■ 法人会員：60,000円

※初年度年会費無料(入会翌月～12月末)

#### ■ 賛助会員：110,000円

#### ■ 個人会員：30,000円

### ■ 入会方法

#### ■ JSUGホームページ(JSUGNET)よりオンラインでお申込みをお願いいたします。

- JSUGNET <http://www.jsug.org/> ※次ページ以降に補足説明あり

### ■ お問い合わせ

#### ■ JSUG事務局 (運営時間:平日 10:00-18:00)

- 〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目3-15 FSK赤坂ビル2F
- E-mail: [info@jsug.org](mailto:info@jsug.org)
- TEL:03-3588-0485
- FAX:03-5575-7492

「JSUG活動に関心があるがどんなものかわからない」

「活動に参加できるか不安」

「他の会員に貢献できる活動ができるかわからない」

…等、入会に不安をお持ちの方は、

**初回のみ部会体験参加が可能**です。

御社担当営業より部会開催予定をご確認いただき、

JSUG部会申込ページ「体験参加」より参加登録をお願いいたします。

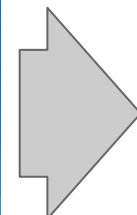
# [参考情報] 入会登録方法



JSUGNETからの入会方法は以下の通りです。

- JSUGNETにアクセスします。( <http://www.jsug.org> )
- 画面左中段にある「入会のご案内」をクリックします。
- JSUG入会のご案内をクリックし、必要な情報を登録します。(入会が承認されるまで1週間ほどかかります)
- 入会後に、JSUGで活動される従業員の方がJSUGNET会員登録を行います。(何名でも登録できます)
- JSUGNET会員になると、JSUGNETログインID&パスワードが付与され、JSUGから各種情報が配信されます。

## ① JSUG会員登録（法人の登録）



## ② JSUGNET会員登録（個人の登録）

## Member's Voice

食品部会



Global Implementation部会



eSOA研究会

「グローバルで適う合理的な要望であれば、  
JSUGで纏め実現を目指します。」

「幅広い階層の人に出会い、多角的な視点を学ぶことができます。」

「ユーザー同士の交流からより実際的な情報が入手できます。」

「海外の技術情報を効率的に吸収できます。」

「かけがえのない人たちとの信頼関係が構築できます。」

## JSUG加入申込み及び

活動内容詳細／スケジュール詳細は

JSUGホームページ（JSUGNET）をご覧ください。

<http://www.jsug.org/>

### JSUG事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目3-15 FSK赤坂ビル2F

E-mail : info@jsug.org

TEL : 03-3588-0485

FAX : 03-5575-7492

（運営時間：平日 10:00-18:00）

